

応用物理学会東海支部でのリフレッシュ理科教室の取り組み

Engagement with Refresh Science Class in the Japan Society of Applied Physics, Tokai Branch

岐阜高専, [○]羽渕仁恵

NIT, Gifu College

E-mail: habuchi@gifu-nct.ac.jp

【はじめに】応用物理学会東海支部では、平成 10 年度より小中学校の先生や生徒を対象にしたリフレッシュ理科教室（以下、理科教室と略す）を開催している。理科教室は現場の教員が実験工作を通じて科学の楽しさと原理を理解し、さらに応用例や先端技術の紹介を受けてより理解を深め、児童とのコミュニケーションによって多くの児童に科学への興味、関心をもたせることを意図した活動である。本発表では、東海支部独自の取り組みを交えながら活動内容を紹介する。

【活動の内容】東海支部では、定例の活動として名古屋、山梨、浜松、岐阜、三重の各会場において理科教室を毎年実施している。教材は前年度に実行委員会を数回開催し、そこでアイディアを出し合って最終的に 3 つに絞る。各会場の教材は原則共通としている。理科教室は、子供のための教室と先生のための教室を行い、さらに親のための教室を実施する場合もある。親のための教室は子供が工作している時間に並行して行っており、子供が作っている工作の説明をすることで、家庭に持ち帰ったとき親子で工作物を楽しんでもらう目的で行っている。先生のための教室は、近隣の小中学校の先生に参加していただいているが、休日に個人として参加することを前提とすると参加者が集まりにくい。市教育委員会と提携して教員研修の一環として理科教室を開催するとまとまった参加があり、かつ教育委員会の協力も得られる。他の活動として、過疎地への出張理科教室、支部連携・他学会連携による理科教室も行っている。出張理科教室は、東海支部内で科学館などの施設がない地域にある全児童数が数十人程度の小規模の小学校に出向いて演示実験と工作教室を実施する (Fig.1)。連携教室は東海支部外の地域で実施しており、他のグループの運営方法や教材を知ることができ東海支部の次の活動に活かすことができる。最も遠い場所での活動は中国で、平成 22 年に開催された上海国際博覧会に名古屋市の出展の企画として参加した (Fig.2)。

ここで紹介したものは一部であるが、平成 28 年に発刊した応用物理学会東海支部設立 50 周年記念 DVD にこれまでの活動記録が収められており、理科教室の活動は東海支部の HP でも紹介している。さらに、いくつかの教材をまとめた書籍も出版している[1]。ご興味ある方は御覧ください。

参考文献 [1] 続 作って、遊んで、理科がわかる！身近な素材で楽しむ工作教室 (高井吉明編集、日本評論社、2018 年 6 月発行)



Fig. 1 Class visit to Itadori elementary school in Gifu



Fig. 2 Activity in Expo 2010 Shanghai China